

2	款	総務費	1	項	総務管理費	1	目	秘書事務費				
事業	事務事業名	東京新湊、小杉、近畿いみず、大門郷友会活動補助金						担当部署	企画管理部			
	012	予算事業名	(秘書事務費)						課名	政策推進課		
基本事項	事業期間	開始年度	平成 17 年度	終了年度				電話	5 1 - 6 6 1 2			
	総合計画	施策の大綱	第 3 部	個性に満ちた活気あふれるまち					実施方法 (H27)			
		政策(章)	第 1 章	個性を生かしたまちづくり								
		施策(節)	第 4 節	国内外交流の推進								
	根拠法令等	射水市補助金等交付規則										
事業目的	対象	補助金等交付先	東京新湊会、東京小杉会、東京大門郷友会、近畿いみず会									
	意図	補助金等交付目的	東京地方、近畿地方在住の射水市出身者同士の交流機会の創出を図り、射水市の活動状況等についての情報交換を行うことで、会員の本市への理解を深めていただき、大都市圏での本市の事業やふるさと納税 P R 等の一役を担っていただく。									
成果指標	事業目的を達成する指標	単位	H25実績	H26実績	H27実績	H28見込	指標名					
		回	36	36	36	37	上記 4 団体の活動回数					
事業内容	手段	補助金等の受ける主な活動	<ul style="list-style-type: none"> ・総会、役員会 ・各種交流会 ・大都市圏で本市が実施する事業の P R 等の支援活動 									
		活動指標	補助金等交付件数	単位	H25実績	H26実績	H27実績	H28見込	指標名			
			件	3	3	3	4	補助金交付件数				
備考	その他説明を要する事項											
事業コスト	項目(単位:千円)		H25決算	H26決算	H27決算	H28予算	事業コストに関する特記事項					
	直接事業費(補助金等交付額)		300	300	300	400						
	(当初予算額)		(400)	(400)	(400)							
	うち臨時職員人件費											
	財源内訳	国・県支出金										
地方債												
その他												
一般財源		300	300	300	400							
個別評価	評価項目		説明									
	妥当性 (a~c)	a	県外の射水市出身者会員同士のネットワークの構築・深化は、市にとって有益な情報の収集や、県外 P R の窓口・パイプ役となりえることから、有益かつ妥当な事業であると考え。									
	有効性 (a~c)	a	各会の活動維持、会員同士のネットワークの構築・深化に寄与している。また、大都市圏で実施する市の事業等で会員の皆様にご協力をいただくなど、直接的ではないが、会が存続することによる効果があると考える。									
	効率性 (a~c)	a	補助金の他、会員からの会費収入等で各種事業を実施している。また、実施している事業は総会等毎年同様の事業を実施しているため、これ以上の大幅な経費削減は望めないものと考え。									
総合評価 (1次評価)	評価結果 (A~C)	A	現行どおり事業を進めることが適当						評価結果 (A~C)			
	今後の方向性		改善内容・現行どおりとする理由等						評価委員会のコメント			
	廃止・休止		県外、とりわけ大都市圏への本市の P R が重要視される中、県外ネットワークの構築は今後ますます重要になってくると考える。大都市圏での市の事業に対する協力や、会員との新たなネットワーク構築による市にとって有益な情報収集に加え、県外 P R の窓口・パイプ役となりえることから、引き続き事業を進めていくことが適当である。									
	規模縮小											
	統合・連携											
	民間活用											
	負担適正化											
やり方改善												
現行どおり												
拡充												
									総合評価 (2次評価)			

2 款	総務費	1 項	総務管理費	1 目	秘書事務費			
事業	事務事業名	東京新湊、小杉、近畿いみず、大門郷友会活動補助金				担当	企画管理部	
	012	予算事業名	(秘書事務費)				課名	政策推進課
評価項目	評価の視点	内容(該当は、非該当は×) 内部管理事務の場合、妥当性の判定は行わない(妥当性をaとする)					電話	5 1 - 6 6 1 2
妥当性	実施意義・市民ニーズ	社会経済情勢の変化や当初目的の達成状況、市民ニーズなどを勘案しても、事業の実施意義は低下していない。					判定	
	民間競合	民間と競合していない、あるいは事業の実施により民間事業者を圧迫していない。						
	受益者・費用負担	事業内容(手段)の受益者は、公益性が認められる場合を除き、一部に偏っていない。また、受益者負担あるいは市の負担は適正であり、公平性・公正性が保たれている。						
有効性	政策体系との整合性	事業の成果(意図)が、上位施策の目標達成に結びついている(貢献している)。						
	統廃合・連携余地	目的及び対象が類似・重複する事業はなく、他に目的を達成する手段はない、あるいは他に手段があっても、統廃合や連携の余地がない。						
	成果の向上余地	事業内容(手段)を工夫しても、成果を向上させる余地はない。						
効率性	事業継続による影響	事業を継続することで、更なる成果が期待できる。						
	従事人員削減余地	現在の成果を維持しつつ、事業内容(手段)の業務プロセスの最適化等により正規職員の従事人員や業務従事時間を削減する余地はない。						
	直接事業費削減余地	現在の成果を維持しつつ、事業内容(手段)の事務改善や契約方法の変更等により直接事業費を削減する余地はない。						
評価結果	実施主体見直し余地	民間活用・外部委託の拡大や市民協働事業化等による実施主体の見直しについての検討の余地はない。					総合評価 (A ~ C)	A 現行どおり事業を進めることが適当
	個別評価 (a ~ c)	妥当性	有効性	効率性	評価結果			
		a 適合	a 適合	a 適合				

性質	交付先区分	個人	類型区分	団体運営費補助	事業費補助	施設等整備補助		
	補助区分	団体		政策的補助	格差是正補助	利子補給等		
		定額		算定方法				
		定率	予算の範囲内で1団体あたり上限100千円で交付					
		その他						
交付状況	項目	H25実績	H26実績	H27実績	H28見込	特定財源	項目	
	補助金等交付件数	3件	3件	3件	4件		なし(市単独補助)	
	補助金等交付額	300千円	300千円	300千円	400千円		国補助(%)	
		うち一般財源	300千円	300千円	300千円	400千円	県補助(%)	
交付団体状況	項目	H25決算	H26決算	H27決算	H28予算	事務局体制	項目	
	交付先歳入決算額	4,198千円	3,470千円	4,833千円			非該当・事務局なし	
	補助金の占める割合	7.1 %	8.6 %	6.2 %			担当課が主体	
	交付先歳出決算額	3,278千円	2,880千円	3,973千円			交付団体が主体	
	次年度繰越額	920千円	590千円	860千円			その他	
	歳出に占める割合	28.1 %	20.5 %	21.6 %			↳ ()	
事業目的	対象	東京新湊会、東京小杉会、東京大門郷友会、近畿いみず会					法人会員数	0団体
	意図	東京地方、近畿地方在住の射水市出身者同士の交流機会の創出を図り、射水市の活動状況等についての情報交換を行うことで、会員の本市への理解を深めていただき、大都市圏での本市の事業やふるさと納税PR等の一役を担っていただく。					個人会員数	約300人
事業内容	手段	<ul style="list-style-type: none"> ・総会、役員会 ・各種交流会 ・大都市圏で本市が実施する事業のPR等の支援活動 						
	補助金等の受け取る主な活動							